

道徳通信

令和3年10月6日
黄ブロック No. 2

「法や決まりを守るために大切なものは何だろう」～道徳「仏の銀蔵」を通して考えました～

● 命, 高利貸しの銀蔵は、高い利子で金を貸して人々から取り立てをしていました。ある日、銀蔵の証文つづりをカラスが持ち去ります。証文つづりがなければ取り立てができません。借金をしていた人々はほっとしました。けれどその後、生活苦となった銀蔵を見て人々は、「盗人にはなりたくない」「お天道さまが見ている」と、借金を返し始めます。それから銀蔵は心を入れ替え、二度と高い利子を取るようなことはしませんでした。

授業では、銀蔵が証文綴りを必死に探した理由、「そうか、お天道様か!」と膝を打った銀蔵はどんなことが分かったのかについて考え、自分にとってのお天道様がどこにいるかをみんなで示し、人との違いを感じながらテーマにせまりました。

●● ●●さん

銀蔵が悪いと思う人もいれば村人が悪いと思う人もいたので決まりに従うとどちらが正しいのかが気になった。お天道様が自分の中にあるという意見が参考になった。

●● ●●さん

法やきまりはみんなで守っていかなきゃいけないものなのかなと思った。1人が守れなかったらそのきまりはできていないので、しっかり守ろうと思いました。

●● ●●さん

決まりを守るためには周りの環境に目を向けるだけでなく、自分の行動に目を向けることが大切だと学んだ。

●● ●●さん

「少しくらいいいだろう」と思って得をしようとする、いずれ自分に罰があたると改めて思った。法やきまりにきちんと従っていこうと思った。

●● ●●くん

自分が間違いを起こさないよう、自分やみんなで決めた約束や決まりをちゃんと守ろうと思った。

●● ●●さん

どうすればいいか考える時、自分にとって良いことを提案してくれる人と自分にとって悪いことを提案してくる人が頭の中にいると思うのでその悪い考えを提案してくる人の意見に流されないこと。自分の利益の為に考えない事。

●● ●●くん

銀蔵がいくら威張っていても村人たちが、高い利子を取られるという条件を了承したのであれば、返さなければいけない。返したくはないが、「銀蔵が威張っていたから借金を返さなかった」なんて理由は通用しない。

●● ●●さん

自分の中にある正義感を消さないことが法やきまりを守ることに繋がると思いました。

●● ●●さん

決まりを誰かが守っていなかったとしても、自分は守ると言う決意が必要だと思った。

●● ●●さん

法やきまりをも守るためには、自分の正義感や善人でいたいという気持ちが必要だと思いました。きまりを守ることは正しい行いと考えることができるので、正しくありたいという自分の気持ちが1番の行動力になると思いました。

